

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ懇談会（もりこん141）		
タイトル	樹木ウォッチングの楽しみ方(浦安の自然)		
実施日時	平成28年11月17日（木）18：45～20：45		
実施場所	船橋中央公民館第2集会室		
受講者	7名	FIC会員	7名

活動の内容

浦安といえばディズニーランドのイメージが強いが、人工の町での樹木・自然をウォッチングするとそこには本物のワンダーランドが繰り広げられて楽しみが尽きない。以下報告。

1. 浦安の地形・地理：浦安市の森林面積は千葉県で唯一0%。市内の3/4が埋立地で東京湾にせり出すように造成されている。このため見晴らしがすぐれ西は富士山・丹沢山系、東京羽田（離発着が望見できる）、横浜（ランドマークタワー）、川崎の工場地帯、三浦半島、南は房総半島の富山、伊予ヶ岳、鋸山、君津方面の山々、千葉の工業地帯も全望できる。さらに三番瀬側からは北東方面に筑波山、日光男体山、大真名子山、小真名子山、女峰山などがはっきりまた大きく望見できる。

2. 三番瀬：浦安、市川、船橋、習志野4市に跨っており、強風の影響も少なく年間を通して穏やかな日が多く、渡り鳥などの貴重な生息域で、冬には野鳥マニアが関東一円から詰めかける。

3. 樹木の特徴：街路樹としてはタブノキが一番多く植えられている。強風・潮風などによりクロマツは北向きに傾き、オオシマザクラは北側に枝葉が多く茂り偏り、ソメイヨシノはねじれ現象が強い。海に面したタブノキ、ネムノキ、イスノキなどは頂芽が枯れ、側芽が横に伸び、その後また枯れさらに側芽が伸びていくことで階段樹形をきたしている。海側の植栽木は樹齢が若く、矮性化しているので芽吹きや花が目線で見られて楽しい。

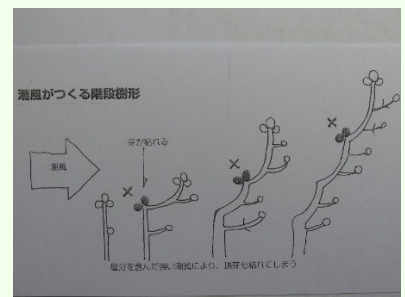
4. その他の自然について：昆虫ではチョウ類が豊富、野鳥もクロツグミ、アリスイ、オオアカハラ、コミミズク、以前はキジもいたが開発の影響でいなくなった。水鳥ではカイツブリ類、ウミアイサ、ホオジロガモ、ビロードキンクロなどが至近距離で観察できる。キノコも豊富でショウロ、アカハツ、イグチ類、ササクレヒトヨダケなどの食菌も豊富にあり美味しく食べている。



クロマツは北に傾く



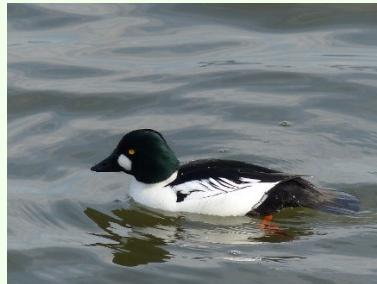
ホルトノキの階段樹形



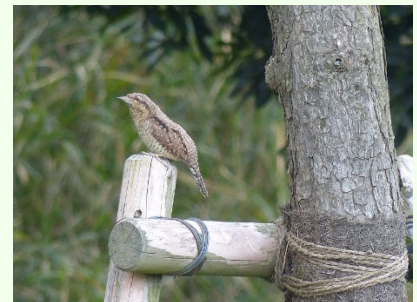
階段樹形のイラスト



ビロードキンクロ



ホオジロガモ



アリスイ